

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～28℃台を示し、やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の54%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の77%（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、壱岐勝本地区では、1日当たり3.7トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり269kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり18kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり196kgの水揚げで、前週の71%（前年を上回った）。
- トビウオ船曳――北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり749kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/9～9/14の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、引き続き大和堆付近で操業。  
沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～新潟沖～山形沖で操業。  
鳥取県西部（沖合船）5日延58隻、総計5,483箱、1航海最高274箱、平均94.5箱。  
スルメイカ（20～40入）4,367箱、ケンサキイカ（2～4立）1,116箱の混獲となった。  
（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>